

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:	
会議等の開催日時: 令和5年5月25日付けで、甲州市歴史的風致維持向上計画協議会の委員の方へ進捗評価シートを郵送。5月31日を締切にし、意見集約を行った。	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲州市は多くの文化財を抱え、少ない職員数で、膨大な事業をこなしていることがわかります。したがって計画通り行かない案件があっても仕方ないのかもしれませんが。 ただ、細かな事業があまりにも多く、事業の中で何を優先すべきなのかがわかりにくいように思います。 ・本来の歴史的風致維持と趣旨がやや異なる事業が含まれているのではないかと思いました(農道整備など)。 ・甲州市の歴史風致維持向上に関して、優先すべきは中心部での市立博物館の設置だと思います。核となる施設を整備し、そこを拠点に文化財保護活動や歴史的環境整備などを行なう必要があると 言えます。ぜひ本計画に加え、実現に向けてご検討ください。 ・甲州市景観計画との連携 意見: 市民及び事業者の理解を得られたことは、高く評価できると思います。今後とも景観保全に地元の方々の理解と協力を得ていくことは、大切だと思います。 ・甲州市塩山下小田原上條伝統的建造物群保存地区保存整備事業 ・市内伝統芸能・祭典継承事業 意見: 地域社会の高齢化は当該地区ではそれ以上のことと思います。地域を超えた保護活用の試みが必要だと思います。甲州市が地元大学生との連携事業を試みられていますが、そのような活動が、新しい動きを生み出すように思いますので、継続した取り組みが大切だと思います。 ・史跡勝沼氏館跡保存整備事業 意見: 維持管理が大変な時期に来ているように思います。既に危険な箇所も想定されますので、課題を整理して具体的な取り組みが必要だと思います。 ・於曾屋敷環境整備事業 意見: この地域の歴史的背景及び環境は、全国的にも例を見ない独特なもの(金山関連遺跡)と言えますので、周辺遺構確認調査等の成果(歴史データ)に基づいた整備事業を行うことが、今後の展開で最も重要であります。 ・文化財の保存又は活用の現状と今後の方針 意見: 財政的に厳しい状況の中で、様々な支援方法を活用していることは大いに評価されるべきである。歴史景観の保全は、今後地域社会のかけがえのない財産となるので、今後ともご努力を期待する。 ・文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針 ・旧宮崎葡萄酒醸造所保存修理事業 意見: 市内の諸施設との連携が大切であると思いますが、よく努力されていると思います。 ・文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画 	